

受診を先延ばしにしている方、身近にいませんか?

「最近、歯がしみる気がするけれど、まだ我慢できるから…」

「健診の時期だけど、忙しくて時間が取れない」

「歯ぐきが腫れてる? 痛くないから様子を見よう」

そんな理由で、つい受診を先延ばしにしてしまう方は少なくありません。しかし、歯のトラブルは自然に治ることがほとんどなく、気づかないうちに進行していることが多いのです。

違和感が…
ちょっと様子を見るか…



ご家族やご友人の中にも、「痛みがないから大丈夫」と考えている方がいるかもしれません。そうした方にこそ、早めの受診をおすすめしてください。特に、高齢の方や持病のある方は、歯や口の健康が食事や体調にも大きく関わります。しっかり噛める状態を保つことは、栄養をしっかり摂ることにともつながら、全身の健康維持にも役立ちます。



早めの受診と定期的な健診が大事

虫歯や歯周病は、初期のうち痛みや腫れといった自覚症状が少ないのが特徴です。

たとえば虫歯は、表面に小さな穴があいても痛みが出ないことがあります。そのまま放置すると、やがて神経にまで達して強い痛みを感じるようになり、治療の回数も費用も増えてしまいます。

歯周病も同様で、歯ぐきの腫れや出血に気づかず放置すると、歯を支える骨が溶けてしまうこともあります。重

症化してからでは、抜歯が必要になるケースも珍しくありません。

歯に違和感を感じたり、痛みを感じたときは早めの受診が大事ですが、定期的な健診が一番大事です。定期的に受診していれば、ほんの小さな異変も早めに発見でき、治療も短期間・少ない負担で済みます。



入れ歯の役割 噛むためだけではありません

歯が抜けたままの状態を放置してしまうと、見た目だけでなく、噛む力や全身の健康にも影響を及ぼすことがあります。入れ歯で歯を適切に補うことには、次のような大切な役割があります。

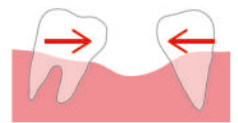
噛む力の維持

しっかり噛めることは、食べ物の消化を助けて胃腸への負担を軽減します。さらに、噛む刺激は脳の活性化にもつながります。



残っている歯の保護

歯が抜けたまま放置すると、残っている歯が移動したり傾いたりして、かみ合わせが悪くなる原因になります。入れ歯で補うことで、残っている歯を守ることができます。



身体のバランスを保つ

かみ合わせが安定すると、顎や全身のバランスが保たれます。その結果、転倒予防や姿勢の改善にもつながります。



発音や表情を良くする

歯が抜けたままだと発音しにくい音がありますが、適切に補うことで言葉がはっきりと発音できるようになります。また、口元の見た目が整い、表情も豊かになります。

